**国政レベルでの動き（98年10月～99年3月）**

　新聞各紙、各地での情報などをまとめると、次のような動きがあるようです。

一、動き

★98-10-7:自民党のホームレス勉強会

・呼びかけ人の一人は、保坂三蔵通産政務次官(台東区を地元とする)。

・東京都・新宿区・横浜市・川崎市・名古屋市・大阪市の各自治体からヒアリング。

★98-10-20:自民党議員が内閣官房副長官へ要望書提出

・厚生・労働・建設・自治・国土・通産の各政務次官と衆議院議員1名、参議院議員2名

・ホームレス緊急対策として予算措置をという主旨のよう。

★98-10末:簡易宿泊所密集地域対策議員連盟発足

・会長:柳本卓治自民党衆議院議員(西成区を地元とする)

「地域再開発で雇用を創出できれば…」

★時期不明:自民党ホームレス問題研究会の首相への緊急要望

・政府の責任で施策の確立。・自治体の対策に財政的な措置を。

★98-ll-2:首相と大阪府知事・大阪市長との懇談(首相が極秘に釜ヶ崎を視察)

・首相「関係都市からのヒアリングをしたらどうか」

★98-l1-2:大阪市内の野宿生活者8660人(98-8下旬当時)。(東京都は4300人)

★98-ll:首相発言を受けての「場」づくりの動き

・すでに、柳本前政務次官のフォーラムである「あいりん対策等連絡協議会」があるが、これはあいりん地区の再開発を目的にしたものなので、この中ではできない。・厚生省・労働省が中心になることになったよう。

★98-l1-5:衆議院決算行政監視委員会が釜ヶ崎を視察

★98-l1-1O:自民党都市問題対策協議会(会長:柿沢弘治)が首相に「都市政策に対する提言」。「路上生活者対策への国による支援」の項目あり。

★98-11-18頃:衆議院(?)労働委員会委員が釜ヶ崎を視察

・議員が府職員に「何故こんなになるまで放置していたのか」と言ったとか。

★98-1l-25:雇用保険法施行規則改正による助成金制度の新設を発表(労働省)

・「緊急日雇労働者多数雇用奨励金」と「中高年労働移動支援特別助成金」

・前者は、99-1より、2000-3まで。

★98-12-9:厚生省で、5省庁による各都市のヒアリング

・労働省、厚生省、建設省、自治省、警察庁(オプサーバー)。課長クラス。

・東京都・大阪府・神奈川県・愛知県。・大阪市・川崎市・横浜市・名古屋市(各々資料に基づいて説明?)

★99-1-26:衆議院予算委員会・前田　正議員が、質問。

★99-2-4:衆議院予算委員会(インターネットで議事録が公開されている)

・田端正広議員(公明、西成区在住)と山本孝史議員(民主、近畿比例)が、質問。

・野中官房長宮が「各都市の実態調査を待って、関係省庁を一体とした組織を作り、積極的な施策を講じたい。(事務局については)内政審義室を中心にして考えたい」と返答。

★99-2-12:第1回ホームレス問題連絡会議(総理府)

・内閣官房内政審議室、厚生省社会・援護局、労働省職業安定局、警察庁生活安全局、建設省大臣官房、自治省大臣官房。

・東京都福祉局、東京都新宿区、横浜市福祉局、川崎市健康福祉局、名古屋市民生局、大阪市長。

・5都市から、現状と要望。

・失業者、自己破産などで身元を隠したい人、うつ病など精神疾患を持つ人、社会的な束縛を嫌う若者達、の四つの類型に分けて対応する方針にほぼ一致、とのこと。

・遅くとも夏までには総合対策をまとめる。

・連絡窓口は内政審議室だが、実質的な事務局は、厚生省社会・援護局地域福祉課と労働省職業安定局高齢・障害対策部企画課のようである。

★99-3-9:第2回ホームレス問題連絡会議予定

・各自治体からの要望。・実態調査の実施について。

・ヒアリングなどを行う学識経験者の自治体からの推薦。

二、政党・議員の問題意識

**(自民党ホームレス問題研究会)**

・公共の場を占拠。同情を禁じ得ない人もいるだろうが、定住化が長くなると傍若無人で、人の迷惑を顧みなくなり、周囲から迷惑がられる存在。

・アメリカでは4割がアルコール中毒、薬物中毒。日本もアメリカ型になりつつある。このまま放置すれば、新しい社会構造を生み出しかねない。

・総合的、全国的な緊急措置が必要。各自治体で、名称が違っている。

**(公明党・田端議員)**

・根本的解決策は、景気・経済活動を活性化する以外に解決策はない。労働省、厚生省も。

・治安という面からも大事。地域住民の人は非常に困っている。

・プロジェクトチームというようなものを作って、実態調査からやって、何らかの方向を。

**(民主党・山本孝史議員)**

・建設業の機械化、仕事に就けない。ケースワークするにも数が非常に多い。

・労働省の対策は、事業主にお金を出して本人の所には行っていない。

・政府の中に体制をつくって欲しい。